

定時制通信制高等学校南部地域再編活性化協議会中間まとめ

平成19年3月22日

1. 経緯

(1) 協議会の設置

本県における「県立高等学校再編活性化基本計画」では、定時制・通信制課程について、学習者に魅力ある教育を提供する観点から、定時制高校の活性化を進めることとし、単位制の導入、3年修業制の実施等を積極的に行いつつ、昼間部、夜間部及び通信制課程を備えた「定通ネットワーク」の拠点校を、学習者のニーズを見定めながら設置していくこととしている。伊勢地区では、平成16年度に3部制単位制の定時制高校「伊勢まなび高等学校」が開設されたが、学習者により一層柔軟な学びの場を提供するため、関係高等学校、学識経験者、市教育委員会、近隣中学校、PTA代表などを構成委員とした「定時制通信制高等学校南部地域再編活性化協議会」を設置し、南部地域(津・伊賀・松阪・伊勢志摩・牟婁地区)における定時制通信制教育の今後の在り方について協議を行うこととした。

(2) 県立学校再編活性化第二次実施計画が示す南部地域に係る定時制通信制の検討課題 伊勢まなび高等学校を中心とする定通ネットワークについて、近隣地域の高等学校定時制課程及び通信制課程の在り方を検討をする。

伊賀地区及び牟婁地区における通信制高校の協力校について検討する。

EラーニングなどIT技術を活用した授業方法の改善等について検討する。

(3) 概要

〔平成17年度〕

第1回協議会(平成18年2月21日)

- ・高等学校再編活性化計画等の説明
- ・各高等学校の現状把握等

〔平成18年度〕

第1回協議会(平成18年8月9日)

- ・協議会の年間計画
- ・各定時制通信制高等学校の現状と課題の把握
- ・定時制通信制生徒に係るアンケートの実施について

第2回協議会(平成18年10月19日)

- ・アンケート調査結果の報告
- ・南部地域における定時制通信制の在り方について

第3回協議会(平成19年1月11日)

- ・先進校調査報告
- ・南部地域における定時制通信制の在り方について
- ・調査委員会の設置について

第4回協議会(平成19年2月22日)

- ・報告書(案)について
- ・調査委員会より
- ・今後の検討課題について

2 現状と課題

(1) アンケート調査報告より

北星高校以外は定通併修の利用が少ないこと。

利用しやすい定通併修制度について、検討する必要がある。

定時制・通信制で学ぶ生徒には、極めて幅広い学習ニーズがあること。

教員数の少ない夜間定時制高校単独では対応に限界があり、南部地域においてどのような定通ネットワークの構築を図るべきか検討する必要がある。

多くの生徒が理解しにくい教科・科目があること。

不登校傾向の生徒への対応を含め、各校に共通した課題があることから、各学校間における連携・協力体制の整備について検討していく必要がある。

(2) 先進校調査報告より

県内先進校（北星高等学校）視察報告より

通信制課程は定時制高校に併置する方が、定通併修など生徒にとってより一層多様な学びが可能となる。

協力校方式（兵庫県立網干高等学校、兵庫県立星雲高等学校）視察報告より

南部地域における協力校の在り方について、兵庫県における三種類の協力校方式のより詳細な検討が必要と考えられる。

(3) 調査委員会報告より

伊勢まなび高校に通信制を統合する場合、伊賀地域や旧飯南郡の生徒の通学が難しくなると考えられることから、対応を検討する必要がある。

南部地域の定時制通信制に学ぶ生徒の実態や学習ニーズについて、より一層きめ細かく、具体的に検討する必要がある。

南部地域全体を視野に入れ、南部地域の状況に応じた定通ネットワークの在り方を検討する必要がある。

3 協議会における今後の検討課題

(1) 定通ネットワークの整備

南部地域における定通ネットワークの拠点校の具体的なイメージの検討を行う。

通信制の協力校の在り方について具体的な検討を行う。

生徒の多様なニーズに応え、教育内容の充実を図るため、IT技術を活用した教育の在り方について検討を行う。

(2) 全日制高校に併設された夜間定時制高校の在り方

生徒数が極端に少ない全日制高校に併設された夜間定時制高校の在り方について検討を行う。